

# 市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

## 「日本のメロディーを歌う会」

教科書から童謡や唱歌が消えていくことに寂しさを感じた地元自治会の会員が集まり、一緒に日本の懐かしい歌を歌い継ぎながら、多くの人たちを笑顔にしたいと高齢者施設を慰問し、お年寄りとともに歌うことに喜びを感じて社会貢献活動を続けている「日本のメロディーを歌う会」。平成15年(2003)に、これまでの活動が認められ、彩の国コミュニティ協議会からシラコバト賞を受賞し、現在も活発に活動しているみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



**市長** みなさんこんにちは。12月を迎え、年末の慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。

「終わりをよければすべてよし」の言葉どおり今月を乗り切り、新しい年を健やかに迎えたいだけだと願っています。さて、今月の市長のふれあい訪問は、鳩ヶ谷地区で活動する「日本のメロディーを歌う会」のみなさんです。どうぞよろしくお願います。はじめに、この会はいつ頃どんなきっかけでできたのですか。

**磯田** 時代とともに教科書から童謡や唱歌が消えていくことに寂しさを感じ、美しい日本の童謡・唱歌を歌い継いでいこうと自治会のメンバーを募り、昔懐かしい歌を含め、童謡・唱歌を歌う会を立ち上げたのが始まりです。それが、今から30年前の昭和57年です。

**市長** 随分長い歴史がありますね。どちらの自治会ですか。

**磯田** 南鳩ヶ谷8丁目自治会です。みんな当時の自治会役員で

そのつながりでメンバーが集まりました。  
**市長** 定期的に練習しているのですか。

**櫻井** 月に1回第2日曜日の午後を基本にしています。ただ施設の慰問などに行く前は少し練習日を増やします。

**市長** 歌う人はもちろんですが、伴奏する人が必要になりますね。  
**山本(晃)** 私はギターをやっています。自治会長がパーカッションをやったり、慰問のときには童謡唱歌だけでなく懐メロもやります。

**市長** 懐メロというと歌謡曲ですよね。  
**磯田** 慰問では童謡や唱歌だけでなく、お年寄りが喜ぶ懐かしい歌を歌うようにしています。

**市長** さまざまな施設を慰問しておいでなのですが、どんな



ところへ行くのですか。

**山本(幸)** 介護センターなどです。今は、年間通じて4、5回は行きます。

**市長** 慰問先のみなさんの反応はどうですか。  
**山本(幸)** 知っている歌をたくさん歌うので、一緒に大きな声で歌ってくれます。こちらも元気をもらい、うれしくなって帰ってくる人が多いですね。

**宮入** 自分の知っている歌になると、みなさん本当に大きな声で歌います。歌が終わると拍手をくださいますが、こちらのほうは、歌ってくれたみなさんに拍手をお返しをするくらい、歌ってくれます。

**市長** みんなで一緒に歌うというのが基本なのですね。「ステージとお客さん」でなくて、両方がお客さんでありステージなのですね。

**磯田** みんなで大きな声で歌って会場が一つになるという感じですね。

**市長** その中でも、人それぞれに思い出の歌というのがあるのでしょうか。

**櫻井** 歌を聴いて、涙ぐむのを見ると、その時代に戻って思いを巡らせているのだろうなと思います。その時間をみなさんと一緒に過ごせるのはすごくうれしいですね。

**市長** 歌の力というのを感じますね。  
**山本(幸)** それまでまったく歌わなかった人が、知っている



歌になると急に大きな声で歌い出し、笑顔になるのを見ると本当にそう思います。

**市長** 素晴らしいことですね。出演依頼は多くなってきました。

**山本(晃)** 合併後、川口市民パートナーステーションに登録したところ、引き合いが多くなり、活動の場を広げることができました。

**市長** それはなによりです。それでは今後の抱負をお聞かせください。

**磯田** 合併し活動範囲が広がったので、もっと多くの施設に慰問に行き、みなさんが元気に、笑顔になれるよう活動していきたいと思っています。

**市長** ぜひこれからもよろしくお願います。今日はどうもありがとうございました。